

文武両道とは

それぞれの高等学校では「文武両道」という言葉をよく口にしますが、真の『文武両道』とはどのような概念でしょうか。「勉強も部活も頑張れ！って言うことだよ」という話も聞きますが、それでは、あまりにもお粗末ではないかと考えます。指導者がきちんと理解しないと、間違っただけをこれからの日本を支える青少年達に伝授していくことになると思いますので、「文武両道」の正しい概念について私の意見を述べてみたいと思います。

1 文武両道とは

健全な青少年の育成は、保護者や指導者の健全な考え方の上に立つ指導のもとに育まれていくものでしょう。

「文」を極めるには、「武」によって培われる健全な心と体が必要であり、「武」を極めるには、「文」によって培われる論理的思考が必要だと思います。

勉強も優秀で秀でた学力を持ち、スポーツや文化活動も県代表レベルであるような人は、まれな存在であると考えます。(誰もがそうはなりません、私の周りには少なからずいたのも事実です。)

教員として指導者側の本音は、個々の力量に応じて文武の両立を目指し、日々の絶え間ない努力を惜しまない、そんな生徒達を可能な限り応援して行きたいと考えております。

勉強だけを一生懸命毎日していても、心身の発達においては偏ってしまい、いずれ行き詰る事になる可能性もあります。また、運動や文化活動を一生懸命磨いても、それだけでは、競技力を伸ばして上位の成績を獲得するトップアスリートや全日本レベルの技術や表現を手に入れることはできません。

だからこそ我々が目指すのが、バランスのとれた人間育成を目途とする「文武両道」であるのだと思います。

勉強するなら、健康的な体造り＝「武」である運動や精神的な豊かさを育成する文化活動を併行して行うことで、忍耐力・精神力の向上を伴い、運動で上位の実績やトップアスリートを目指すなら、何が自分の体にいいかを学ばなくてはならないし、集団での競技なら、戦略的な思考力と判断力を持って戦術から先を読みむ力を養わなければならないと思います。

ゆえに、学問と運動及び文化活動は、常に表裏一体である事に他ならない訳です。到達点から物事を考えることについても似ています。「文武両道」は惹かれるものではなく、目指すものであると思います。そして、間違いのない「文武一貫」の理念に基づいた指導を展開すべきです。

2 「文武両道」と学校

「文武両道」は人によってその取り組み方に於いて、解釈も多様であり、「武からの学力向上」「文からの技術向上」を目指したり、それぞれが個々の力量

に応じた指導方法を用いなければならないと考えます。

そして学校はそのために協力を惜しまないという立場をとって、初めてその学校における「文武両道」の精神が語られるのだと思います。

学校が本当にそういった意味で「文武両道」使用しているのならば、一概に勉強・部活動ともに頑張りましょうねではなく、「大きな志を持って生きていく上で、何処に今後の進路を考えるにしろ、勉強と部活動という学校での学びの機会と、学ぶ内容に無駄な物は一切無いはずである。」という意味が自然と生まれるでしょうし、それぞれの学びがそうなるよう向上していかなければならないはずで

す。人は単に他の人と比較して何か秀でているのが素晴らしいのではなく、大きな志の下に目標に向かってどう努力したかが評価されるのだと思います。その努力は崇高なかけがえのないものです。

3 インプットとアウトプット

これまでも書いたとおり、「文武両道」とは、勉強もできる運動もできると言った単純なことではないと思います。

① 授業を通じて学んだことを、身体の活動をともない実感として確認すること。

② さらに身体を活動させることによって体感した事を知識として「学習」するということ。

だと考えます。

人間の脳は、インプット（学習）だけではなく、必ずアウトプット（活動）をともなって、初めて活性化されるはずで

す。その相互作用が、それぞれの生徒の能力を進化＝深化させていくと考えます。

また、そのアウトプット＝活動こそが自主的・自発的な能力の育成に繋がるのだと思います。「文」は静的な学び、それに対して、「武」は動的な、ダイナミックな学びと規定することが可能です。これら二つの学びを意識して結びつけることが、「文武両道」の本質だと私は考えます。

現代の社会は、幅広い視点と多様な能力を有している自律した若者を求めています。さらにバランス感覚に優れた人間性も含め、これらの能力は、より多くの体験活動によって培われるものです。

学習に、また、様々な活動に、あわてずあせらず精一杯取り組み、まじめで誠実で、何事に対してもあきらめずに立ち向かい、周囲の仲間を大切に

する姿勢と明日を信じる前向きな気持ちを身に付けることが、「文武両道」の目標ではないでしょうか。そして、その「文武両道」が教育活動の中で展開されるとき、その学校は、明らかに活性化し、有為な人物を育成する力に満ちあふれるのではない